

『天の御心が地にも』 マタイ6章6～13節 2018.1.1(元旦礼拝説教より)

『神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです…それは、あなたがたが…曲がった邪悪な世代の中であって…世の光として輝くためです…』
ピリピ人への手紙 2:13～16

❶「私たちの父」のみこころを知る…イエスの時代の「神」は、審判者・絶対者、恐るべき方だったが、『父のふところにおられるひとり子の神(ヨハネ 1:18)』が教えた「父なる神様」は徹底的に憐れみ深かった！しかも「アッバ(家族用語)」！御子は神だが、私たちは「被造物」！しかしクリスチャンが祈る時も、『天におられる父よ』と呼べると教えられた！◆「天の父」の御心は二種類！①ご自身が定めたご計画／②神の願い・期待！①は必ず実現する！『御子の誕生！十字架の贖い！悪魔への勝利！…等々』。②の実現(例えば、Ⅰテモテ 2:4 やⅡペテロ 3:9 等)は、それを聞いた人の意志(決断・選択)に委ねられる！この神の願いの実現のために、クリスチャンの証しや伝道が期待されている。★だから「御心が地でも！」と祈る時、クリスチャンは自分の責任を自覚し、自分が何をすべきかを考えることになる！

❷父の御心を、この地に実現する神の子たち…この世には、目に見えない対立する国が2つ！「神の国」と「悪魔の国」！悪魔は「この暗闇の世界の支配者(エペソ 6:12)」で、「…福音の光を輝かせないようにしている(Ⅱコリント 4:4)」！『国』とは「支配」！神の国とは、神の恵み(愛・平和)が支配する領域！「悪魔の国」とは、罪(わがまま)が支配し、怒り、憎しみ、暴力、戦争…が支配する世界！『神の国は、あなたがたのただ中に(ルカ 17:21)』と言われたイエスの来臨で「神の国」は、すでに始まり、その恵みの支配はクリスチャンがいる場所に、局所的に現れる！『神は、御心のままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる…それはあなたがたが…世の光として輝くため(ピリピ 2:13～16)』。『わたしにはまた、この囲い(恵みの支配領域)に属さないほかの羊があります。わたしはそれをも導かなければなりません。彼らはわたしの声に聞き従い、一つの群れ、ひとりの牧者となる(ヨハネ 10:16)』。

★その恵みの支配を、どうすれば、あなたの周囲に広げられるだろうか？今年、皆さんからのヴィジョンを聴き、その方向性が示され、私たち(教会)の課題を共有し、しっかり役割分担したい。神の家族が笑顔になり、平和の絆で堅く結ばれ、イエスが真ん中におられるとわかり、人々が救われますように！